

事業のセールスポイント

市民のウェルビーイングな暮らしを実現するため、市民の移動サービスとして定着してきた「シェア型マルチモビリティ事業」や「3D都市モデル」等の官民データを活用したスマートシティサービスの更なるシンカ（進化・深化・真価）を図るとともに、データ利活用体制の整備やデータに基づく施策の評価・検討体制の構築により、都市経営を支える「シクミ」を構築する。

施策① スマートシティサービスの更なる「シンカ」の推進：市民やゲストに直接的に作用するスマートシティサービスのアウトプット

施策② スマートシティや都市経営を支える「シクミ」の構築：施策を支える体制・ルール・共通認識等（検討・設計・運営管理の土台）

対象区域の概要



- 面積：約217.4km²
- 人口：約135万人

対象区域のビジョン

（将来都市像）

・上質な生活都市

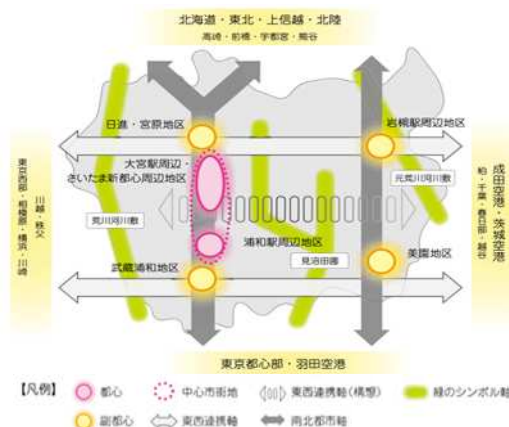
全ての人がしあわせを実感し、自らが暮らすまちに誇りを感じることができる都市

・東日本の中枢都市

市民や企業から選ばれ、訪れる人を惹きつける魅力にあふれる都市

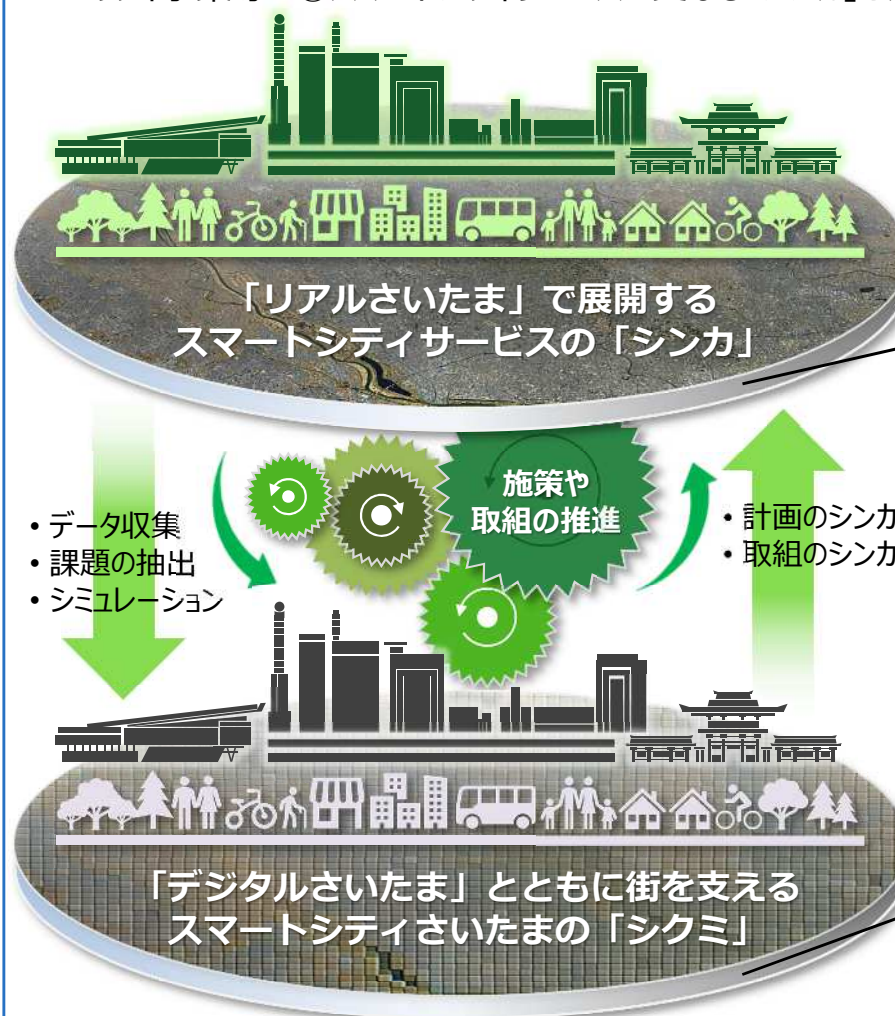
・目指す将来都市構造

「水と緑に囲まれたコンパクト+ネットワーク型」の都市構造を目指します。



本事業全体の概要

- 市民のウェルビーイングな暮らしを実現する「スマートシティさいたま」の取組を推進するため、シェア型マルチモビリティ事業等の①スマートシティサービスの更なる「シンカ」と、これを支える②「シクミ」の構築を推進する。



スマートシティサービスの更なる「シンカ」の推進（施策①）

- シェア型マルチモビリティの本格実施
- 交通結節機能の強化や交通マネジメントの拡充
- 「さいたま市みんなのアプリ」を活用したサービスの実施
- 公民学による3D都市モデル等地理空間情報を活用した取組・サービスの展開

スマートシティや都市経営を支える「シクミ」の構築（施策②）

- スマートシティの取組を評価する仕組の構築（EBPMの活用等）
- 社会実装を実現するための運営体制の構築（持続可能なビジネスモデルや体制構築等）
- データ利活用ルールや管理体制の整備（データガバナンスやデータマネジメント等の構築）
- シティプロモーションの推進

スマートシティの目標(KPIの設定)

・「スマートシティさいたま」を実現するため、シェア型マルチモビリティ事業等の①スマートシティサービスの更なる「シンカ」と、これを支える②「シクミ」の構築を図る。

「スマートシティさいたま」

KPI	現状値	目標値
交通利便性への満足度	63.5% (R6)	67.0 %
自動車分担率(*)	22.7 %	20.0 %
CO2削減効果 (年間削減量)	823 t-CO2 /年	1,000 t-CO2 /年
スマートシティサービスによる経済効果(**)	1.01 億円/年	1.25 億円/年
健康増進効果 (身体活動量)	21.4 kcal/日	23.0 kcal/日

施策① スマートシティサービスの更なる「シンカ」の推進

施策／取組	KPI
シェア型マルチモビリティの本格実施	・ ポートの増加 50ヶ所／年
交通結節機能の強化や交通マネジメントの拡充	・ モビリティハブの設置 2箇所
「さいたま市みんなのアプリ」を活用したサービスの実施	・ サービスの実施 2件/年
公民学による3D都市モデル等地理空間情報を活用した取組・サービスの展開	・ ユースケースの実施本数 2本/年

施策② スマートシティや都市経営を支える「シクミ」の構築

施策／取組	KPI
スマートシティの取組を評価する仕組みの構築	・ 評価手法の検討 ・ コンソーシアム会議での報告 2回／年
社会実装を実現するための運営体制の構築	・ 運営体制の構築 ・ 事業性の評価に係る指針やガイドラインの策定 体制の構築
データ活用ルールや管理体制の整備	・ 指針やガイドラインの策定 ・ データベース・ガバナンスの構築 ・ データの整備・充実 体制の構築
シティプロモーションの推進	・ 関連サイトの構築 ・ PR・情報発信の実施 4回／年

*さいたま市地域公共交通網形成計画／第5回東京都市圏パーソントリップ調査における自動車分担率に本実証で得られた「1日あたり自動車交通削減トリップ数」を加味して算定、**「スマートシティサービスによる経済効果」の現状値・目標値は現時点では仮算定、取組の検討時に算定手法とともに再設定

※各KPIは現時点での設計値、関係者との協議の上で精査を想定

運営体制

さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム

(戦略策定)

(地域の施策の推進)



美園タウンマネジメント*1
(会長)

(地域の施策の推進)



アーバンデザインセンター大宮*1
(監事)

(事務局)



さいたま市

(アドバイザー)

大学 等

(データの管理)

データ活用チーム

(サービス提供
関連事業の推進)

民間事業者 等

*1 一般社団法人

スマートシティ
基盤の提供
・ 事業の支援

データの
フィードバック

サービス運営者

サービス
の提供

利用実績

参画
・ 連携

スマートシティの受益者

市民・来訪者

地元事業者・団体

等

連携

内閣府・国交省 等



PLATEAU
by MLIT

各取組における主な導入技術

- ・「スマートシティさいたま」に資するフィジカルインフラとデジタルインフラの拡充と融合により、効果的なスマートシティサービスの創出と「シンカ」を図る。
- ・各取組の推進による効果や課題等は相互に影響を及ぼすことが想定され、これらを「シクミ」により統合的に整理・評価することで、スマートシティの施策／取組の一体的な推進を図る。

施策① スマートシティサービスの更なる「シンカ」の推進

フィジカルインフラの拡充		×	デジタルインフラの拡充	
シェア型マルチモビリティ（SMM）の本格実施 ・事業採算性の確保と公共交通の補完機能を両立したステーションの拡充・展開 ・社会的ニーズに合わせたモビリティの導入による移動の選択肢の確保 ・パーソナルモビリティの運転補助／自動返却に関する技術導入	交通結節機能の強化や交通マネジメントの拡充 ・鉄道やバス、SMM、新モビリティをつなぐ、結節点（モビリティハブ等）の整備 ・既存駐車場を活用した交通マネジメントの実施		「さいたま市みんなのアプリ」を活用したサービスの展開 ・「さいたま市みんなのアプリ」上で、ユーザーの移動の目的となるイベント情報や移動に便利なモビリティ情報を発信・提示 ・ポイント等インセンティブを活用したスマートシティサービスの検討	公民学による3D都市モデル等地理空間情報を活用した取組・サービスの展開 ・公民学による様々なプレイヤーの主体的な企画提案・連携による、まちづくり、防災、環境、交通、GXといった多様な分野における3D都市モデル等の地理空間情報を活用した取組・サービスの展開
期待される効果 移動の利便性向上 健康の維持・増進 エコライフスタイルへの転換 データ連携の強化 …他	期待される効果 移動の利便性向上 健康の維持・増進 エコライフスタイルへの転換 データ連携の強化 …他		期待される効果 移動の利便性向上 滞在環境の向上 消費活動の活性化 データ連携の強化 …他	期待される効果 移動の利便性向上 滞在環境の向上 データ連携の強化 …他

施策② スマートシティや都市経営を支える「シクミ」の構築

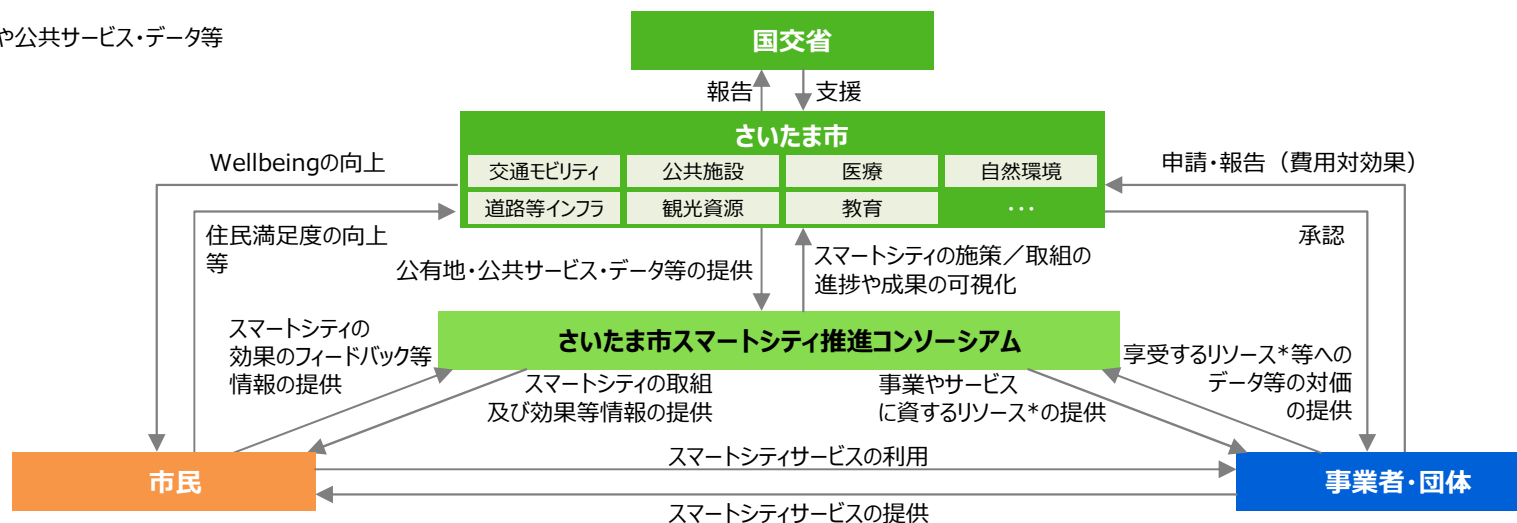
スマートシティの取組を評価する仕組みの構築 ・施策／取組について、ロジックモデルやKPIの設定によるEBPMの活用を推進し、数値データに基づいた傾向分析と原因分析を伴う設計・評価・改善ができる手法を構築 ・分析ツールの構築	社会実装を実現するための運営体制の構築 ・公民学等の関係主体による機能的、機動的に適切な連携のもと、システムの維持やサービスの提供等に要する安定的で自立した財源を用意する等、運営面、資金面での持続可能性を踏まえた設計を徹底	データ利活用ルールや管理体制の整備 ・関連データの共有や管理等、推進主体におけるデータの取扱いに関する規約を作成（初期的には必要に応じた要請と対応） ・データ利活用を推進するチームの構成 ・関連するツール、データベース等の構築（3D都市モデル等データの整備・オープンデータ化の推進）	シティプロモーションの推進 ・さいたま市スマートシティのビジョンや進捗の可視化と効果的な情報の発信 - 紹介・進捗を閲覧できるサイトの開設 - 「さいたま市みんなのアプリ」等による市民やステークホルダーへの情報発信
期待される効果 スマートシティサービスのシンカ・増加 データ連携の増加 …他	期待される効果 スマートシティサービスのシンカ・増加 公民学連携体制の持続 …他	期待される効果 スマートシティサービスのシンカ・増加 データ連携の増加 …他	期待される効果 取組の認知度向上 住民満足度の向上 …他

ビジネスモデル

- 社会課題の解決を目指すスマートシティは、市民（訪問者含む）、自治体、事業者等、関連するステークホルダーに様々な形で付加価値を提供することが可能となる。
- 「スマートシティさいたま」では、「シクミ」やデジタルツール（3D都市モデルや「さいたま市みんなのアプリ」等）を活用し、これらの利害関係者間での施策／取組／サービスの可視化や相互理解を促すことで、効果的な推進を企図する。

「スマートシティさいたま」の施策／取組の基本的なビジネスモデル

*リソース：公有地や公共サービス・データ等



スケジュール

*「シクミ」を早期に構築し、スマートシティサービスの高度化を企図

		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度～
施策① スマートシティサービスの更なる「シカ」の推進	シェア型マルチモビリティ (SMM) の本格実施	SMMサービスのあり方について一体的な検討	関係者と協議	SMMの拡充・新たなSMMの導入	評価・改善		策の推進 本実行計画で実装されるサービス・ソリューションを新たな社会インフラとした更なる施策
	交通結節機能の強化や交通マネジメントの拡充	機能のあり方の検討	関係者と協議	公用利用の開始	市内企業への横展開		
	「さいたま市みんなのアプリ」を活用したサービスの展開	サービスのあり方の検討	関係者と協議	SMMのステーションの拡充	モビリティハブを公共交通補完機能を高めながら市内全域に展開		
	公民学による3D都市モデル等地理空間情報を活用した取組・サービスの展開	多様な分野における取組・サービスの検討・実装 実践型の研修開催など オープンデータのハッカソン等の開催など	関係者と協議	サービスの試験的運用	サービスの本格運用	評価・改善	
	スマートシティの取組を評価する仕組みの構築	仕組の検討	ツールの整備	運用	運用	運用	
施策② スマートシティや都市経営を支える「シクミ」の構築	社会実装を実現するための運営体制の構築	分析ツールの検討	指針・ガイドライン・評価手法の検討	運用	運用	運用	シクミ・機能の確立 スマートシティサービスを支える
	データ活用ルールや管理体制の整備	指針・ガイドライン・評価手法の検討	データベース・ガバナンスの整備	運用	運用	運用	
	シティプロモーションの推進	方針やコンテンツの検討・整備		運用	運用	運用	

将来像

